

報告

「府立高校改革推進計画」(案)について

平成16年3月23日
教育委員会

1 府立高校改革推進計画の構成

改革の観点・柱立て	策定状況
中学生から選ばれる高校づくり・希望する高校を選べるシステムづくり 第1章 推進計画の基本的な考え方 第2章 新しい多様で柔軟な教育システムの構築 第3章 創意工夫を生かした教育活動の展開 第4章 主体的な選択ができる入学者選抜制度への改善	15年3月 策定済み
活力ある多様な教育活動が展開できる学校規模の適正化・適正配置 第5章 府立高校の規模の適正化・適正配置	今回 案を策定

2 府立高校改革推進計画()案の概要

第5章 府立高校の規模の適正化・適正配置
(1) 再編整備のねらい ・特色ある高校の適正配置と学校規模の適正化のためには、より特色ある高校への転換や既存の複数の高校を発展的に統合するなどの再編整備を進めることが必要。 ・再編整備は既存の高校を含めた府立高校全体のさらなる活性化を促し、施設設備面でも重点的な整備による良質な教育環境の効果的な提供が可能。
(2) 生徒数の動向と学校規模 中3生数はS62年度をピークに減少、H16年度には55%に、その後は減少傾向の後、微増微減。
(3) 望ましい学校規模 生徒一人一人の能力や個性を最大限に伸ばし、活力ある教育活動が展開できる学校規模は、学年制の全日制高校では1学年8学級程度、単位制高校は6学級程度。
(4) 全日制的再編整備 ・南部地域 発展的統合や転換による再編整備を進め「新しい多様で柔軟な教育システム」の充実を図るとともに、特色を持った高校の適正配置をめざす。 ・北部地域 高校が広い地域に点在し、南部とは大きく異なる状況。適正規模の考え方を基本としつつ、通学条件や地域の状況も踏まえ、総合的に検討。
(5) 定時制・通信制の再編整備 ・全日制と併置の夜間定時制は、新しいタイプの単位制高校(フックス・ハイスクール)に機能を移したり、全日制的多様化・柔軟化を進める中で併置による制約を順次解消。 ・通信制は新しいタイプの単位制高校(フックス・ハイスクール)との連携を検討しながら、教育内容・方法を充実。
(6) 分校の在り方 分校が現在果たしている機能や通学条件に配慮しながら、本校への統合や分校同士の発展的統合など再編整備を進める。

3 府立高校改革推進計画()に係る今後の日程案

- ・4月中旬～5月中旬 パブリックコメント実施
- ・6月定例会に報告後、計画を確定